

エコマークと持続可能な開発目標 (SDGs)

【エコマーク認定事業者向けの SDGs 活用ガイド】



2021年5月(第二版)

公益財団法人日本環境協会
エコマーク事務局

1. SDGs とは

- 国連サミットで採択された **2030 年までの国際社会共通の目標**です。
- 持続可能な世界を実現するために **17 の目標・169 のターゲット**から構成されています。
- 地球上の「**誰ひとり取り残さない**」ことを基本理念として、先進国と途上国のあらゆる人や組織(国、地方公共団体、企業、NGO など)が、一丸となって達成すべき目標です。
- SDGsの目標には、環境面・経済面・社会面の主要な課題が含まれており、多くの目標は**環境課題に密接につながっています**。
- 17 の目標を表した**以下のアイコン**は、誰もが自らの取組に応じて使用できます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



⇒ 外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

2. SDGs がなぜ注目されているのか

- これまで CSR の一環であった「環境・社会・ガバナンス」が、いまや重要な経営戦略と位置付けられるようになり、SDGsへの取組はビジネスにとって不可欠となっています。
 - テレビや新聞などでも SDGsが取り上げられる機会が増え、**上場企業では 100%に近い認知度**となっています(年金積立金管理運用独立行政法人の調査)。
 - 企業が SDGs に取組むメリットは、**新たな事業機会の創出、企業価値の向上、優れた人材の確保、またはリスク回避**などがあげられています(取引先などからも SDGs への対応が求められる時代になりつつあります)。
- ⇒ 「SDGs活用ガイド」(環境省) <http://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>

3. SDGsの活用の仕方

【基礎編】










1) まず、自社の強みを整理し、SDGsの目標と照らし合わせます。

本業とSDGsとを結びつけて戦略を立て、自社の強みにすることが重要です。

具体的には

自社の事業戦略(方針・計画など)または商品(製品・サービス)が、SDGsのどの目標と結び付いているかを特定します。

⇒ エコマーク認定商品・サービスがあれば、SDGsの目標との関連を客観的に示すことができます。各商品分野とSDGsの目標との結び付きは、代表的なものを表1に示していますので、参考として下さい。

目標	エコマークの認定基準との関連	目標	エコマークの認定基準との関連
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 人体に影響を及ぼす可能性がある有害化学物質(発がん性物質、重金属等)の不使用や使用を管理する。[3.9] • 敷地内または室内禁煙を推進する。[3.a] • 自動車保険を通じて交通事故削減の取組みを行う。[3.6] 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な交通システム(カーシェアリングなど)を提供する。[11.2] • 環境に配慮した観光(文化遺産・自然遺産の保護・保全)を促進する。[11.4] • VOC削減のなど大気質の改善や、リサイクルシステムの構築に取り組む。[11.6] • 緑地の提供や維持に取り組む。[11.7]
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭で水切りネットや浄化性能の高い浄化槽の設置する。製造工場の排水に有害な化学物質を少なくするように取り組む。[6.3] • 節水機器の製造・販売、雨水利用など、水を効率的に利用する。[6.4] 	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境に配慮した製品・サービスの開発・生産・利用を進める。[12.1] • 店舗や宿泊施設での食品廃棄物の発生量を減少させる。[12.3] • 製品ライフサイクルを通じて、化学物質や廃棄物の管理を実施し、大気、水、土壌への放出を削減する。[12.4] • 再生材料を使用した製品の製造・販売、回収・リサイクルシステムの構築を通じて、廃棄物発生を削減する。[12.5]
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 再生可能エネルギーの使用割合を増やす。[7.2] • 機器や施設の省エネルギー化やエネルギー効率の改善を進める。[7.3] 	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CO₂排出量の削減や代替フロン削減を進める。[13.2]
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 資源利用効率の向上と環境に配慮した技術の導入拡大に取り組む。[9.4] 	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。[14.1] • 海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。[14.2]
		 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 森林の持続可能な経営の促進や森林減少の防止に取り組む。[15.1、15.2] • 食肉の副産物である革材料の利用を推進する。[15.7]

2) 1)で整理した内容を公表します。

これからの時代は、SDGsへの貢献を自主的に開示する企業が社会から評価されます。

具体的には

自社の取組内容をウェブサイトや環境報告書などで、エコマークとともに、SDGsのロゴを表示して公開します。

① 各目標のアイコンのダウンロード、使い方

自社の取組を社外に伝える目的で SDGs のロゴおよび各目標のアイコンを使用する場合には、国連への申請は不要です。(非営利目的の使用に限る)

SDGs のロゴおよびアイコンは、以下 URL からダウンロードが可能です。(無料)

また、使用方法のガイドが公開されています。

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

② 表示例

ウェブサイトや環境報告書などで、SDGs との関連を示す場合、目標のアイコンを単体で表示するのではなく、自社の取組との関連を示すことが重要です。

◇ウェブサイト環境報告書などでの表示例(1)

●×株式会社は、環境負荷への負荷が少ない製品を開発・製造し、SDGs 達成のために取り組んでいます

PET ボトルや古紙など再生材料の活用を進めています。

12 つくる責任 つかう責任

6 安全な水とトイレを世界中に

規制物質(発がん性物質・重金属類)は使用していません。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を



再生材料の使用による CO₂ 削減のほか、製造工場では、再生可能エネルギーを使用しています。

コーヒーカップはエコマーク認定商品です

表示する SDGs のアイコンは、自社の取組内容に応じて表 1 を参考に選択して下さい。

◇ウェブサイト環境報告書などでの表示例(2)

●●社は、持続可能性に配慮した製品づくりを行い SDGs の達成に貢献します。

ステージ	自社での取組内容(例)	SDGs の目標との関係
資材調達	<ul style="list-style-type: none"> グリーン調達基準を設定し、サプライチェーン全体での環境に配慮した資材の調達に取組みます。 製品への再生プラスチックの活用率を〇%に高めます。 包装材に再生紙や森林認証紙の使用を進めます。 	  
製造	<ul style="list-style-type: none"> 精錬漂白工程での規制物質の使用を削減するとともに、排水管理を行います。 製造工場での省エネ対策に取り組んでいます。 	 
物流	<ul style="list-style-type: none"> 新たに導入する車両は、次世代自動車(電気自動車または燃料電池車)を 100%導入を目指します。 	 
使用	<ul style="list-style-type: none"> 揮発性有機化合物(VOC)の放散を〇%削減します。 使用時の省エネ性能を高め、CO₂削減に貢献します。 	  
回収・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 2025年までに製品の回収システムを構築し、資源循環を進めます。 	 

◇ウェブサイト環境報告書などでの表示例(3)

エネルギー使用量削減の取組

●●は、持続可能な社会の形成に向けて、2030年までに自社工場での CO₂ 排出量を 50%削減(2008年比)することを目標に、徹底した省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用に取り組めます。

貢献できる SDGs の目標



【応用編】

3) その他の目標との関連も整理します。

地域や社会に貢献している部分と SDGs の各目標との関係を整理し、公表します。また、関係する目標について、取組や公表(結果等)をさらに進めます。

⇒ 外務省「JAPAN SDGs Action Platform」【取組事例】

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/org1.html>

表 1 エコマークの各商品分野(認定基準)とSDGsの主な目標との関係

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
101	かばん・スーツケース Version1	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
102	印刷インキ Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任		
103	衣服 Version3	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
104	家庭用繊維製品 Version3					
105	工業用繊維製品 Version3					
106	情報用紙 Version3	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	
107	印刷用紙 Version3					
108	衛生用紙 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
109	タイル・ブロック Version2	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
110	生分解性潤滑油 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任		
111	木材などを使用したボード Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
112	文具・事務用品 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
113	包装用紙 Version3	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	
114	紙製の包装用材 Version2					
115	間伐材、再・未利用木材 などを使用した製品 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
118	プラスチック製品 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
119	パーソナルコンピュータ Version3	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を

表1 エコマークの各商品分野(認定基準)とSDGsの主な目標との関係

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
120	紙製の印刷物 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
121	リターナブル容器・包装資材 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
123	建築製品(内装工事関係用資材)Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
124	ガラス製品 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
125	生ごみ処理機 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
126	塗料 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
127	消火器 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
128	日用品 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
129	廃食用油再生せっけん Version I	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を			
130	家具 Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
131	土木製品 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
132	トナーカートリッジ Version2	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
133	デジタル印刷機 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を

表 1 エコマークの各商品分野(認定基準)とSDGsの主な目標との関係

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
134	時計 Version I	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を		
135	太陽電池を使用した製品 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
136	リユース製品 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
137	建築製品(外装・外構工 事関係用資材)Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	6 安全な水とトイレ を世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
138	建築製品(材料系の資 材)Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を		
139	建築製品(設 備)Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
140	飲食料品、化粧品、家庭用 品などの容器包装 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう	
141	生分解性プラスチック 製品 Version I	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも 守ろう			
142	インクカートリッジ Version 2	3 すべての人に 健康と福祉を	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
143	靴・履物 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう	
144	革製衣料品・手袋・ベルト Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう	
145	プロジェクタ Version 2	3 すべての人に 健康と福祉を	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
146	まほうびん Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	

表1 エコマークの各商品分野(認定基準)とSDGsの主な目標との関係

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
147	損害保険 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
148	楽器 Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
149	BD/DVD レコーダー・プレーヤー Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
150	電球形 LED ランプ (A形) Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
151	浄化槽 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
152	テレビ Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
153	乳幼児用品 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任		
154	太陽熱利用システム Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
155	複写機・プリンタなどの画像機器 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
156	便器などの衛生器具 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
157	給水栓 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
158	節水器具 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
159	サーバ類 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
160	廃食用油を使用したバイオディーゼル燃料およびその副生物を使用した製品 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		

表1 エコマークの各商品分野(認定基準)とSDGsの主な目標との関係

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標					
161 162	シュレッダーVersion I ラミネーターVersion I	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を			
163	ノンフロン加煙試験器 Version I	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を				
164	海洋プラスチックごみ、 漁業系プラスチック廃棄物を 再生利用した製品 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	14 海の豊かさを 守ろう			
501	小売店舗 Version2	3 すべての人に 健康と福祉を	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
502	カーシェアリング Version I	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
503	ホテル・旅館 Version2	3 すべての人に 健康と福祉を	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
504	プラスチック製容器包装のリ サイクルによるアンモニア製 造プロセス Version I	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を			
505	飲食店 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
506	機密文書処理サービス Version I	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう		
507	電力プラン Version I	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう		
508	シェアリングサービス Version I	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
509	商業施設 Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
510	清掃サービス Version I	3 すべての人に 健康と福祉を	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任		

SDGsの17目標・169のターゲットは、以下より確認が可能です。

採択文書全文(日本語訳) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>

【参考】 エコマーク制度と SDGs について



国際規格に基づいて運営される、エコマーク制度は、環境配慮型商品（製品・サービス）を認定する環境ラベルとして、SDGs 達成に貢献します。

17 の目標のうち、エコマーク制度と関連性が最も深いものは、

目標 12 の「つくる責任 つかう責任（持続可能な生産消費形態を確保する）」です。

12 つくる責任
つかう責任



エコマークは、持続可能な消費と生産のために、ライフサイクルを通じて環境負荷の少ない環境配慮型商品の開発・生産の促進に寄与します。

また、国・地方公共団体、民間企業や消費者に対して、環境配慮型商品の目印になります。

エコマーク制度は ISO 14024 (タイプ I 環境ラベル) に基づく、第三者認証の環境ラベルとして、世界でも中心的な役割を果たしています。

エコマーク商品の購入（グリーン購入）を進めることで、SDGs の達成に貢献できます。

13 気候変動に
具体的な対策を



目標 13 「気候変動に具体的な対策を」

エコマークでは、ライフサイクルを通じて CO₂ の排出抑制に寄与する商品（エネルギー効率の高い商品など）を認定し、普及に取り組んでいます。

気候変動対策は、エコマークの評価項目の 4 つの重要な柱のひとつです（その他に、省資源と資源循環、有害物質の制限とコントロール、生物多様性の保全）。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

エコマーク事務局は、日本の環境省や国連環境計画 (UNEP)、世界エコラベリング・ネットワーク (GEN) と協力して、世界各国に持続可能な公共調達（またはグリーン購入）が広がるよう、制度の構築をはじめとした、支援活動に積極的に取り組んでいます。

「エコマークの各商品分野（認定基準）と SDGs の主な目標との関係」は、表 1 に示しています。

公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階

URL: <https://www.ecomark.jp>

E-mail: info@ecomark.jp

TEL: 03-5829-6286